

第20回 下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成24年11月21日(水) 午後1時30分～4時20分
場 所 下野市保健福祉センターゆうゆう館会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、吉田良一委員、水上美紀委員、長光博委員、大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員
欠席委員 飯野洋委員
出席者 鶴見教育次長、黒川生涯学習課長、園部生涯学習情報センター所長、蓬田文化課長、野口主幹、渡辺スポーツ振興課長、坂本課長補佐
事務局 川端総合政策部長、塚原総合政策課長、星野主幹兼課長補佐、山内主幹、古口主査
会議の公開・非公開 公開
傍聴者 3人

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事 (1) 会議録署名人の指名
(2) 行政評価市民評価ヒアリング(教育委員会事務局3事業)
(3) その他
- 4 閉 会

○あいさつ

(総合政策課長) 開会に当たりまして、杉原会長からごあいさつを頂戴します。

(杉原会長) 本日は、会議の後に次の予定があるようで、終わりの時間が決まっていますので、早速議事に入りたいと思います。

○議事

(1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 今回の会議録署名人を指名します。名簿順で、今回は、水上委員と長委員をお願いします。

(2) 行政評価市民評価ヒアリング

[教育委員会事務局からの自己紹介]

[教育次長から教育委員会事務局の概要及び評価対象事業の位置づけの説明]

① 生涯学習情報センター管理運営事業

[生涯学習課長から事業の説明]

(生涯学習課長) 生涯学習情報センターの管理運営及び社会貢献活動実践者の育成講座や既存団体の支援等を実施します。

各教育施設及び行政機関で持っていた学習情報を一元管理し、効率よく市民に提供することにより、市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習の振興を図ります。また、地域課題解決のための講座開催や情報提供を行います。市民の社会貢献活動の支援を行うことで、市民の自治意識の一層の高揚を図り、地域コミュニティの再生や市民の社会参画を推進することができます。(詳細は、ヒアリング資料参照)

(杉原会長) 説明が終わりました。質問のある方はお願いします。

(関口委員) ヒアリング資料の意図欄に地域コミュニティの再生とありますが、私が役員をしているコミュニティには、生涯学習情報センターからの問い合わせも情報もありません。

(生涯学習課長) 生涯学習情報センターから、ボランティア活動している人、育成会、コミュニティ、子ども会等へ、依頼があれば人材を派遣しています。学校や育成会が多いです。コミュニティとしては、友愛館から依頼がありました。交流を深めるためにもやっていますが、コミュニティとの関係は少ない状況です。

(関口委員) 学校支援とありますが、国分寺小・石橋小・国分寺西小で「民話語り」をやっていますが、知っていますか。今度、緑小にも行きます。情報センターには未登録で、市ボランティアセンターには登録をしています。ボランティアセンターや社会福祉協議会とのつながりは持っていないのでしょうか。

(生涯学習課長) 情報センター登録のボランティアと社協のボランティア連絡協議会登録のボランティアは把握していますが、なかなか交流は進んでいない状況です。いくつかの講座等は協力し合っています。今後も、協力しながらやっていく考えです。

(関口委員) 生涯学習情報センターは、旧下水道組合事務所が空いたからあそこにしたのだと思います。今は、情報センターまつりもやっているが、公民館活動と何が違うのか分かりません。情報センターは公民館の上にあって、実践は公民館がやるような組織が良いと思います。情報センターは、施設の使用料は取っていないのですか。

(生涯学習課長) いただいていません。

(関口委員) グリーントウンコミュニティは使用料を取っています。もっと戦略的に計画し、公民館なりコミュニティセンターなりに実践させるようにすればよいと以前から思っていました。宇都宮市は全公民館を地区市民センターと銘打っています。

グリーンタウンコミュニティセンターは、いつも予約が埋まっていて、効率的に使われていて稼働率が良いです

(生涯学習課長) 情報センターと公民館の位置づけですが、公民館は、市民の生涯にわたる学習の支援をし、市民グループや各種サークルなどの養成や活動の支援をして地域の活性化を目指します。情報センターは、市民の地域活動等の人材等を育成し、ボランティア活動など地域貢献団体等を支援します。あらゆる世代に親しまれる活動を目指していますが、情報センターと公民館は、本来その目的と活動内容が違うものです。

(関口委員) 退職者のボランティア入門講座をやっているのを知っています。また、パソコン愛好会が情報センターでパソコン入門講座をやっていますが、やっていることは公民館と同じだと思います。パソコン講座は公民館でもできます。同じことをやる組織が、2つあるのは良くないと思います。1本化できないのですか。グリーンタウンコミュニティセンター、友愛館などがありますが、公民館と同じに、公営にしてしまえば良いと思います。

(教育次長) 一人の人が情報センターに行ったり、公民館に行ったり、コミュニティセンターに行ったりしています。縦割りの的になりますが、公民館は社会教育の活動拠点であり、コミュニティは地域活動の拠点です。情報センターは、自主活動団体、まちづくり団体、学校支援ボランティア団体などが対象になっており、使う人が限定されています。似通っているのはその通りですが、社会教育施設であり、活動のきっかけ作りなどを働きかけています。

市内でボランティアが統一されていないわけですが、教育ボランティアと福祉ボランティアは基本的に違います。

(水上委員) 生涯学習情報センターは、住宅密集地域にグリーンタウンコミュニティセンターはあるが、生涯学習の施設が無いのは不便であると、平成17、18年に市に掛け合っただけでできた施設です。市民の力を有意義に活用するべく活動ができる施設として整備しましたので、社会教育、生涯学習のリーダーになれるように人的面でもソフト面でも充実してやってほしいと思います。

公民館は貸館業務が主なので、やはり情報センターとは違います。建物はグリーンタウンコミュニティセンターに近いので、一括に運用したり、使用料徴収も考えて良いのではないかと思います。市民の立場に立って、使い勝手が良い施設にしてほしいと思います。

(吉田委員) 相談件数はどういうものがあって、どういう回答をしているのですか。

(情報センター館長) 相談は、7月に9件ありました。電話での相談が多いです。例えば、緑小学校から、夏期休業中のコーディネート作業や校内研修の講師探しの依頼がありました。学童保育からは、夏休みのイベントに何

かやりたいということで、ふくべ細工の指導をどこでやってもらえるか、ボランティアを探してほしいというものでした。市文化課で指導をしている人を知っていたので、お願いをしました。また、南とちぎ福祉センターから納涼祭の出し物、子ども会育成会の10月のイベント、国分寺中からイベントの講師紹介などを依頼されています。

(吉田委員) ボランティアや指導者の斡旋が多いのですか。

(情報センター所長) その通りです。

(園部委員) 研修室の利用率が1日に1件あるかどうかですが、活動の拠点になっているのでしょうか。学習ということで、パソコンやボランティアの指導とありますが、運動とかの学習はできないのでしょうか。目の前には遊歩道もあり、ウォーキングの指導などはニーズもあるのではないかと思います。

(生涯学習課長) 研修室では、各種の指導者養成講座をやっています。ストレッチの指導者養成などは可能だと思います。

(中林委員) 利用状況ですが、登録団体数が22年度末が52団体、23年度末が64団体とあり、24年4月で1件となっているのはどういうことですか。

(情報センター所長) 4月に新規追加者が1団体ということですが、10月末現在で65団体ということになります。

(飯島委員) 必要性、熟度・緊急性、効率性の評価が、高い—高い—高い になっていても、「事業推進方針が事業内容を見直しながら実施する事業」なのはなぜでしょうか。

(事務局) 市の事務事業全てに、市民意識調査結果の重要度の高い・低いと満足度の高い・低いで、積極的に推進する事業、継続的に推進する事業、効率的に推進する事業の3つの類型に分けられています。行政評価庁内事業別評価判定表のフロー図で見ると、左端の類型は「Ⅲ 効率的推進」に位置づけられており、フロー図を進めていくとCとなり、自動的に事業推進方針は「事業内容を見直しながら実施する事業」になります。

(飯島委員) 何かあったから、「事業内容を見直しながら実施する事業」になったのではないのですか。

(事務局) 具体的にどの部分が見直しの対象かは示していません。全体的に見て見直す余地があるという判断です。

(杉原会長) 説明する内容が、ヒアリングの中身と直接関係ない次元になりますので、事業方針のことは、この後の協議の時に皆で議論します。

(飯島委員) 使用団体の登録条件に何かあるのですか。どんな団体も登録できるのですか。

(情報センター所長) 条件は、条例で規定されています。市内に活動拠点を置く団体、

社会教育団体、ボランティア活動団体、市が認める団体が対象になります。

(飯島委員) 宗教的、政治的な関係のボランティア団体はどうか。

(情報センター所長) 宗教的、政治的な団体は、登録できません。

(杉原会長) その規則は、登録がダメということですか、使用がダメということですか。登録制限があるのか、使用制限があるのかは、大きく異なります。

(生涯学習課長) 登録要件の中で、条例で謳っていますが、使う場合は許可制限があるということです。

(杉原会長) 活動拠点があることが条件になっていますが、必ずしも住民でなくても構わないということですか。

(生涯学習課長) その通りです。

(大木委員) 数字的なことを伺いますが、平成23年度の決算額は、全体でどのくらいでしょうか。

(生涯学習課長) 決算支出額は、8,466,536円です。

(大木委員) 24年度の予算額ですが、報酬が360万円ありますが、職員の報酬とは別のものですか。

(生涯学習課長) 社会教育指導員2名の報酬です。所長1名の人件費は、情報センターの会計には入ってなく、教育委員会全体の人件費に含まれます。

(大木委員) 360万円は指導員のみですか。また、所長の人件費はどのくらいですか。

(生涯学習課長) 360万円は指導員のみです。所長は再任用であり、給料は現役のときよりは下がっています。

(杉原会長) 他に質問が無ければ、生涯学習情報センター事業についてはこの辺で終わりにして、次に移りたいと思います。

② グリムの森等管理委託事業

[文化課長から事業の説明]

(文化課長) 一般財団法人グリムの里いしばしへの指定管理委託を実施します。この財団は、グリムの森・グリムの館施設の管理運営をするために設立した財団であり、市民密着型の事業を展開することを目的としています。指定管理者の能力を活用し、指定管理者として、住民の本施設に対する効果・効率を更に向上させ、文化芸術等の創造、交流、発信の拠点とします。(詳細は、ヒアリング資料参照)

(杉原会長) 説明が終わりました。質問のある方はお願いします。

(水上委員) ヒアリング資料の事業の内容で、ホールの利用件数が330件とありますが、1年間の述べ件数ですか。

- (文化課長) 平成24年度の計画の数値で、330件ぐらいだろうということです。
- (水上委員) 開館日数は300日ですが、毎日何かがあるということでしょうか。
- (文化課長) 事業やイベントは土日に集中します。1日3回転を見込んで計算しています。
- (大木委員) 一般会計収支明細の補助金は、どこから出ているのですか。
- (文化課長) 一般会計・特別会計とも、市の予算から出ています。
- (大木委員) 補助金の目的は何ですか。
- (文化課長) 一般会計は施設の維持管理や運営等であり、特別会計は財団が利用料を徴収して実施する事業です。
- (大木委員) 市からの補助の目的として、財団に実施する事業を指示しているのですか。
- (文化課長) 財団にお任せしています。それ相応のものを実施するようには話しています。
- (関口委員) グリムの森の目的は何ですか。
- (文化課長) 市民密着型の行事をやっていきたいと考えています。イルミネーションなど、市民が自主的に開催しているものもあります。
- (関口委員) イルミネーションは後付けの行事でしょうから、グリムの森が造られた当時の目的は何だったのでしょうか。それを忘れると何でもやれてしまいます。理事等から、これをやってほしいとかのリクエストはあるのですか。
- (教育次長) 世界に誇れるグリムの里づくりということで、平成8年に設置されました。グリムだけでは運用が難しいので、芸術文化の振興、生涯学習の推進を目的に加えました。また、ここは都市公園ですので、緑化・自然保護を目指します。旧石橋町は地域密着型の施設として位置づけられていました。
- 理事会、評議員会、今年から発足した企画運営委員会会議と、頻繁に開催しています。今年は夏にもサマーフェスタを開催しました。財団が企画し、自ら実施したものです。補助金は、市の広域事業を代わってやってもらいたいものを実施してもらうためのものです。市が直接やりにくいものもありますので、財団で広くやってほしいと考えています。指定管理になり、何の森、何の館か、目的も少しずつ変わってきています。また、行政も成人式や講演会などで、ここを使っています。
- (関口委員) 芸術文化は良いと思います。子どもたち対象の行事も良いことだと思います。市内の小中学校が学校行事で使うことはあるのですか。無いとしたら、やり方などに問題があるのではないのでしょうか。当初の目的とどれだけマッチするかなど、もっとやり方を考えてをやればできると思います。

あれだけの施設があるのだから、芸術・文化をやっているのならば、もっと儲けても良いと思いました。

(文化課長) 21年度は、見学したケースが20件、1,116人、22年度は16件、1,000人、授業の中で使っています。

大型連休に劇団、移動動物園、ファミリー映画などをやりました。また、夏休み絵画教室や版画教室を開催し、ネイチャーゲームなどグリムの森の自然を生かしたイベントも開催しています。

(杉原会長) なぜグリムか、グリムの目的は何かを伺っているのだと思います。グリムとしてのいろいろな事業をやっているのは良いのですが、できた当初のグリムとしての趣旨が繋がっているのでしょうか。

(教育次長) 事業は小中学生も対象にしている、一般対象に加わっています。小学校との連携もあります。グリムは国際交流の際に利用しています。

今年は夏フェスタを開催し、ドイツビール、ドイツソーセージを用意し、ドイツを活かした行事を開催しました。国際交流も踏まえ、連携しながらやっていきたいと思っています。

グリム財団だけでなく、市としても、グリムの森を拠点に国際交流を進めていきたいと考えています。

(水上委員) 一般、特別会計のそれぞれに給与が載っています。なぜ分けて計上してあるのでしょうか。職員は何人いますか。グリムの森も含めた建設費はいくらでしたか。

(文化課長) 給与は、事務局長と職員2名の分で、一般会計が臨時職員の分、特別会計が再雇用の事務局長の分になっています。

(文化課担当者) 補助金は、財団の運営に使うもので、1名分が職員の分、指定管理で行事を実施してもらうので、1名分が事務局の分になります。

(水上委員) 分けて作業しているのですか。

(文化課担当者) 仕事は一緒にやっています。厳密に仕事量に応じては分けられないので、便宜上1名分ずつ分けました。

(文化課長) 細かいデータがありませんので、後日提示させていただきます。

(飯島委員) 使用料の総額が出ていますが、1日借りるとしたらいくらになるでしょうか。

(文化課長) 多目的ホールや控室、使用備品などで、時間や使用規模などで細かく分かれていますので、後日、資料を配付します。

(飯島委員) 市内の人と市外の人とは、同一の料金ですか。

(文化課担当者) 市外の利用者は、市内の人の2割増しになります。

(杉原会長) 以前に取り上げたとき、グリムは国際交流に特化していました。なぜドイツなのか、明確な回答はありませんでしたが、駅前に時計台があり、旧石橋町がシュタインブリュッケン村との交流を始めたのがきっかけだということでした。

個々の事業の方向性を、グリムを特化してはっきりさせた方が良く
と思います。設立の目的から、どんどん離れていってしまいます。

(教育次長) 世界に誇れるグリムの里づくり事業ということでスタートしました。
グリムの館には、グリム童話の絵本の原画などがあります。もっとP
Rしながらやっていきたいと思います。

指定管理の効率化のためにも、内容が少しずつ変わってきたかと思
います。国際交流員と共に、市の行事に合わせながらやっていきます。
ただの貸館業務だけにはしません。旧町の“石橋”つながりの交流を
続けていきたいと考えています。

(水上委員) 使用料の表の見方ですが、500円以下とかの表示で料金が違うのは
どうということですか。

(文化課担当者) 使用団体が、入場料を取ってイベント等を開催する場合、その徴収単
価に合わせて施設利用料金が変わるということです。

(杉原会長) グリムの事業はこのくらいにして、ここで休憩を入れます。

[休 憩]

③ 保健体育総務事務事業

[スポーツ振興課長から事業の説明]

(スポーツ振興課長) スポーツ振興行政運営における事務全般の事業及び各委員会に関
する事務、B&G海洋センターに関する事務、総合型地域スポーツク
ラブ事務員に関する事務を行います。

特にスポーツ推進委員の資質向上のための研修会等(全国スポーツ推
進委員研究協議会、関東スポーツ推進委員研究大会)に参加する意義
は、広い世界での考え方も知ることにより、より地域でのスポーツ推
進活動に役立てることができる効果が見込まれます。その他、事業に
においても会議や研修会及び各種事業の経費となっており、非常に重要
な事務事業です。(詳細は、ヒアリング資料参照)

(杉原会長) 説明が終わりました。質問のある方はお願いします。

(吉田委員) 参考までにB&Gアドバンストインストラクターの資格取得費用はい
くらぐらいですか。

(スポーツ振興課長) 66万9千円です。年によっても異なりますが、受講負担金や交
通費などでおおむね70万円前後かかっています。

(吉田委員) totoサッカー振興の交付金が指導員の報酬に充てられていると聞
きましたが、交付金は指導員の報酬に充てられているのでしょうか。

(スポーツ振興課長) 確かに地域総合型スポーツクラブにtotoの補助金がほとんど
使われていて、クラブマネージャーも130万円、夢くらぶ国分寺が

240万円、元気わいわいスポーツクラブ南河内が170万円、自立支援金として、夢くらぶ国分寺が400万円、元気わいわいスポーツクラブ南河内で340万円相当がtotoからの補助金で賄っています。会費の収入の確保が今後の問題です。totoからの補助金は25年度で終了します。今後の運営方法を検討しています。夢クラブは、12月からNPO法人へ移行します。他のクラブも法人化への指導をしていきます。

(飯島委員) クラブは会員制ですか。会員しか参加できませんか。

(スポーツ振興課長) 会員を募集し会員が参加することになりますが、参加費を払っての一般市民の参加も受け付けています。それ以外にもクラブの説明、勧誘をしています。一般の人は会費を払ってまでやろうとは思わないようです。地域総合型スポーツクラブの位置づけを全体的にはっきりさせ、周知していきたいと考えています。

(飯島委員) 有料ということですが、1か月いくらですか。

(スポーツ振興課長) グリムの里スポーツクラブで、年間1,000円です。

(飯島委員) 公民館講座などの簡単なスポーツ講座とは違うのですか。

(スポーツ振興課長) 親子体操、市民ハイキング、スキー講習会など市がやるものと、総合型クラブがやるもの、各サークルがやるものなどがあります。公民館のものよりは、専門性が高いものになります。

(飯島委員) インターネットで検索すれば分かるものはありますか。市のホームページにありますか。

(スポーツ振興課長) 各クラブでホームページを開設していますし、市のホームページからも見られます。また、市の広報紙にも掲載しています。行政でも問い合わせに対して、クラブを紹介しています。総合型クラブは3つありますが、それぞれ特異性がありますので、全部が一緒というわけではありません。

(関口委員) いろいろなクラブがあって、なんで調整しながらできないのか、連携はしないのですか。

(杉原会長) この事業をなぜ選んだのかの理由に、この事業は報酬が多いので選ばれました。それを踏まえて、質問がありましたらお願いします。

(関口委員) 事業の名称から、本来の業務が何なのか、スポーツ振興業務そのものではないのですか。

(スポーツ振興課長) 本市は、事業別の予算の立て方になっています。各事業のほか施設ごとに、また、経常的な事務事業を別に上げています。地域型総合スポーツクラブは市の直営ではありませんが、市の支援が無くてはできないので、市がカバーしています。

(関口委員) この事業のほかにスポーツ振興事業とありますが、事務は同じ人が兼務しているのに、なぜ分けるのですか。

(スポーツ振興課長) 市民から分かりやすい事業、予算を組んでいます。変えられるところは変えながら検討していきたいと思います。

(水上委員) 報酬の5, 266千円の内訳はどうなっていますか。

(スポーツ振興課長) スポーツ推進審議員が20万円、スポーツ推進委員が9万6千円×40名で380万円、少年スポーツ指導員が120万円です。

(水上委員) スポーツ推進委員は36名ということですが、どういう役割があるのでしょうか。

(スポーツ振興課長) 市のスポーツ行事の運営、スポーツクラブの指導、各種大会の運営、市の行事の企画・立案、など、市のスポーツ推進の全般を担っています。

(大木委員) B&Gアドバンストインストラクターの資格を持っていると、どういうことができるのですか。

(スポーツ振興課長) プールの指導や子どもの安全を図ります。トライアスロンの専門性もあります。資格者がいないと、B&G海洋センターは運用できません。

(大木委員) 海洋センターを利用する人が対象なのですか。

(スポーツ振興課長) ほかのプールでも指導しています。

(大木委員) ふれあい館のプールの教室でも指導するのですか。

(スポーツ振興課長) ふれあい館は別の企画でやっています。スポーツ振興課の職員は出ていません。

(大木委員) 海洋センター中心ということでしょうか。ふれあい館から指導者の要請があれば行くことはできますか。

(スポーツ振興課長) 時間帯や形態等にもよりますが、検討します。

(関口委員) こういう有資格者を雇っていて、定年後、ふれあい館への再雇用などの考えはあるのですか。

(スポーツ振興課長) 推進委員以外にも、市内には人材はいっぱいいます。今後、人材の発掘もしたいと考えています。

(関口委員) ふれあい館の委託費用の中の人件費がいくらわかりませんが、きらら館の場合、スポーツ事業の委託費は3人の講師で年間1,600万円かかっていると聞いています。スポーツ振興課と連携してやると、多額の経費削減につながると思います。

(水上委員) スポーツ振興課の人材も生涯学習ボランティア登録にして有効活用できないでしょうか。情報センターは無償のボランティア登録かもしれないが、ふれあい館においてボランティア活用を考えれば、有償ボランティアでも有効活用になります。

(杉原会長) 戦略的スポーツ振興はありますか。ボトムアップではなく、市が率先して実施するものです。例えば、強力なスポーツ選手を育てるとかの計画です。

(スポーツ振興課長) 市民全員がスポーツをする「ひとり1スポーツの推進」を掲げ、健康増進が目的になっています。施設や指導者の問題もあります。競技スポーツは指導者等のウェイトが大きいです。

(杉原会長) スポーツはある程度夢物語なので、どうせお金をかけるのならば、そういうものがあっても良いと思います。

(大木委員) B & Gに関する年間の維持管理経費の数字はもらえますか。

(スポーツ振興課長) 今ここでは、数値的資料の手持ちはありません。

(杉原会長) 他に質問が無ければ、これでヒアリングを終了して、意見交換に移行したいと思います。

[教育委員会事務局職員退席]

(杉原会長) それでは、ここからは意見交換といたします。皆さん、ヒアリングで感じたことをどうぞ発言ください。

(関口委員) 事業の全体が分かりません。事業を分けている意味が分かりませんでした。横の連絡が無さすぎると思いました。隠れている指導員が多いと思います。特に、問題のあるテーマを選んでいるので、もっと聴くと良いのではないのでしょうか。

(大木委員) 保健体育総務事務事業はつかみどころがないと感じました。B & Gアドバンストインストラクターは、もっと有効に活用した方が良いと思います。

(飯島委員) B & Gインストラクターの資格は、必ず取らなくてはならないのでしょうか。

(事務局) 旧国分寺町が土地を用意して、B & G財団が海洋センター体育館とプールを建設しました。3年間を経過して、町に無償譲渡されたのですが、その時の約束事で、今後も海洋センターの適正な維持管理と財団の理念確保のため、B & G財団が任命するインストラクター資格者を必ず有することになっています。

(総合政策部長) 市は、事業別予算を組んでいます。目的別予算は、国の基準で全国の市町村で取り入れられています。款項目節の節で支出の種類を分けることが決まっています。事業別予算は、必要な経費を精算していく方法で、他への流用ができないようになっています。井勘定の予算組みはいけないということです。

(長委員) いろいろ聞いていると縦割りであることが分かりました。スポーツ振興課の説明でも、プールでの事業も現役世代の人のスポーツはスポーツ振興課で、健康のためのスポーツは生涯学習やふれあい館でやるということのようです。重複しないでお金の使い方ができるか、お金より組織の方が重複しないようにすることが、重要ではないかと思いま

した。

- (園部委員) クリスマスのライトアップする12月から1月の期間は、ライトアップする夜もカフェなどが営業していたら入館者が増えると思います。
- (総合政策部長) グリムの森のイルミネーションは地域の手作りの事業です。市は電源と場所のみを提供しているだけです。今年から市民活動支援の補助金制度を始めました。地域活性化のための市民活動団体を育て、支援していきたいと考えています。
- (中林委員) グリムの森のイルミネーションが毎年ぎやかになってきていますが、毎週土日に集まって、地域のボランティアが作製しています。入場料は取っていませんが、活性化委員会がコーヒー等を販売しています。収益は活動資金になります。
- (水上委員) 高齢者のための健康スポーツのいくつかは、きらら館のハードの投資をなくしても、既存の公民館ホールや自治会公民館へ、有資格インストラクターを派遣したらいいと思います。市民の側も自宅に近い会場だと行きやすくなります。
- グリムの館はグリムにのみ特化する必要はなく、グリム兄弟の活動に倣って、石橋や下野市内、栃木県内の昔話や伝説などを集めて、紹介するのも良いと思います。

(3) その他

- (杉原会長) その他について、事務局から何かありましたらお願いします。
- (事務局) 次回は、11月27日(火)の午後1時30分から、ゆうゆう館会議室で開催します。ヒアリングは、産業振興部と建設水道部の2事業で、10事業全てが終了します。ただ今資料を配付しますので、次回お持ちください。
- 本日の個別評価シートは、次回委員会の冒頭に回収しますので、よろしくお願いします。
- また、本日の会議録は、作成でき次第、郵送等でお送りします。前回の会議録も未完成ですので、お待ちください。内容をご確認いただき、修正が完了した後、署名人に署名をしていただきます。

4 閉会

- (総合政策課長) 本日の日程はこれで終了いたします。お疲れ様でした。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長 杉原弘修

署名委員 水上美紀

署名委員 長 光博

Handwritten scribbles or marks, possibly initials or a signature, located in the upper left quadrant of the page.